

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)プレスリリース

－日本語版追加情報－

2013年9月5日

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)とは、2009年に欧州の主要年金基金のグループを中心に創設された不動産セクターのサステナビリティ・パフォーマンスを測るベンチマークで、不動産会社・運用機関に対して毎年行う調査に基づいています。現在では、あわせて6兆1000億米ドル(約610兆円、1米ドル=100円で換算)の資金を持つ50以上の機関投資家が、不動産投資運用のプロセスでGRESBを利用しています。

本年調査へのグローバルの参加者数543のうち、日本市場からの参加者数は29と、昨年の24から着実に増加しました。内訳は、上場会社が16社、非上場会社が9社(複数ファンドで回答した会社があるため、非上場会社の回答数は13)となっています(詳細別紙)。特筆すべきは、J-REITの参加者が昨年の8社から14社に大幅に増加したことで、社数ベース・時価総額ベースとも、J-REIT市場の約4割がGRESB調査に参加したことになります。

GRESBは、サステナビリティに係る「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れている会社「グリーンスター」の称号を付与していますが、日本を含むアジア地域からは、複数のJ-REITを含む16社(ファンド)が「グリーンスター」を取得しました。また、サステナビリティに関する取組みが傑出しているアジアの産業セクターのリーダーとして、産業ファンド投資法人が選出されました。詳細は、プレスリリースと同時に公表された2013年GRESBレポート(現在、英語版のみ、<http://gresb.com/>)をご参照ください。

お問い合わせ先

CSRデザイン環境投資顧問株式会社(GRESB日本市場アドバイザー)

堀江隆一(ほりえりゅういち)、高木智子(たかぎともこ)

電話: 03-5213-4830

Eメール: gia@csr-design.com

GRESB 2013 年調査 参加者（日本市場）

参加者数：29（25社）

（複数ファンドで回答した会社があるため参加者数と社数が異なる）

上場：16（16社）

[うち、J-REIT：14（14社）]

アクティビア・プロパティーズ投資法人

イオンモール株式会社

大和証券オフィス投資法人

GLP 投資法人

いちご不動産投資法人

産業ファンド投資法人

ジャパンエクセレント投資法人

日本ロジスティクスファンド投資法人

日本プライムリアルティ投資法人

日本リテールファンド投資法人

ケネディクス不動産投資法人

森ヒルズリート投資法人

日本プロロジスリート投資法人

オリックス不動産投資法人

東京建物株式会社

ユナイテッド・アーバン投資法人

非上場：13（9社）

アビバ・インベスターズ

CBRE グローバルインベスターズ

ダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社

ケネディクス・アドバイザーズ株式会社

ラサール不動産投資顧問株式会社

MGPA

東京海上不動産投資顧問株式会社

株式会社ザイマックス不動産投資顧問

（英語表記でのアルファベット順）

以上